

R4年度商店街 NEXTチャレンジャー育成事業(3期生)

第6回 <六本松商店連合会>

日 時：令和4年12月9日(金)

16:30~19:00

会 場：MJRガーデンラウンジ

参加者20名

- 商店街関係者（8名）
- 六本松商店連合会（2名）
- 見学者（2名）
- 福岡大学 杉本先生、飛田先生
- コーディネーター等（6名）

<Program>

1. 開会
2. 六本松商店街歩き
3. 六本松商店街から学ぶ！【六本松商店連合会 事務局長 金石 智宏さん
〃 金石 美江さん】
4. ワークショップ
5. 閉会



Program 1 開会

商店街訪問の最後の地、中央区六本松を訪れました！

六本松商店連合会（以下、六本松商店街）は、平成21年3月に移転した九州大学六本松キャンパスの跡地開発が進み、新しい景色と昔ながらの懐かしい景色とが同居する六本松地域にあります。また、福岡市地下鉄の延伸に伴い、博多駅へのアクセスも良好になることから、さらに注目を集めるエリアです！

そんな転換期にある六本松商店街にお話をうかがってきました！

Program 2 六本松商店街歩き

六本松商店街の方に案内してもらい、商店街を歩きました！

学生寮だった建物を活用して、
おもしろいお店がたくさん
入っています☆



大通りから路地まで…
六本松エリアは奥が
深い…!!

Program 3 六本松商店街から学ぶ!

六本松商店街の金石事務局長と、奥様の美江さんにお話を伺いました。

地下鉄七隈線の延伸でさらにアクセスが良くなることなどから注目を集め、新規出店も多い六本松エリア。六本松商店街は、組織の目的として「会員店舗の活性化」と

「地域貢献」を掲げており、バルウォークの開催や『六本松の本』の作成など、9つものプロジェクトが進行中です。現在では会員数が100を超えているという六本松商店街ですが、会員数が増えたきっかけになったのが商店街の「組織の目的」に基づいた取り組みです。

新型コロナウイルス感染症の流行初期、何をすればいいのか世間もまだ混乱している中で、商店街は一早いプレミアム付商品券の販売や、商店街が中心となったテイクアウト専門のWEBサイトの立ち上げなど、地域のためにと積極的かつ迅速に動かれました。そのような取り組みがきっかけとなり、活動に賛同した人が次々に商店街に加入してくれたそうです。これは、一定の方に「**商店街に加入するメリット**」を感じてもらえた結果だと言えます。

今後としては、さらなる会員店舗の獲得や、商店街の個店同士の情報共有、地域の魅力発信のため、より積極的なSNSやWEBサイトの活用を検討されているそうです。新たな取り組みには少数とは言えネガティブな意見もあるそうですが、「そこは気にしない」と言い切る事務局長。ビジョンを実現させる実行力を強みに奮闘する事務局長の姿に、参加者はとても刺激を受けていました!



Program 4 ワークショップ

「大学がなくなる、大型商業施設ができる、建物の制限がある等の『外的脅威』をどうしたら乗り越えられるのか、参加者で考えてもらいました。

とある班では、「そもそもそれらは外的脅威なのか?」という意見になりました。これは、それらを上手く取り込んで、地域の魅力に繋げている六本松商店街の姿を直に見たからであり、もしかすると現在自分の商店街にとって外的脅威だと思っているものも、実はそうではないのかも…と思うきっかけになったようでした。



Program 5 閉会

六本松商店街のみなさんありがとうございました!
次回からは報告会に向けて、これまで商店街を訪問して学んだことを思い出して、話し合っ、考える時間です…☆

本日のポーズは
六本松の「6」です!



(写真撮影のときだけマスクを外しました)